

挑戦(チャレンジ)

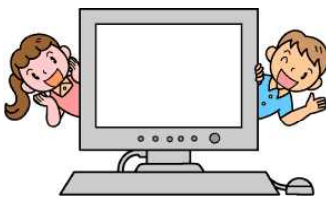
2年生2学期の決意です！！

2-5 内山凌



楽しかった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まります。部活動ではほとんどの部活が新チームとなり、2年生が引っ張っていることと思います。そして、1ヶ月後には我々2年生が学校を引っ張っていかなくてはなりません。まず、学校を引っ張っていくには、先生方や全校生徒からの信頼が必要です。皆さんが私たちの提案に協力してくれるかは、皆さんから信頼されているかどうかだと思います。では、信頼を得るためにはどうしたらよいのでしょうか。それは、「提出物を出す」「時間を守る」といったできて当たり前でやらなければいけないことをしっかりとし続けることだと私は考えます。しかし、それだけでは不十分です。ここで、アピールの場となるのが9月に行われる体育大会です。2年生となり中学校2回目の体育大会では、昨年とは違いただ先輩方の指示を聞いて動いているだけでは、ダメなのです。先輩方の指示を聞くことは大切なことです。ただ、今年は自分たちで考え行動し、先輩たちのサポートをしながら、後輩の手本とならなければなりません。日々の生活や行事を何気なく送り、迎えるのではなく、「信頼」を得られるように、自覚と責任をもった行動をしていきたいです。「皆さんからの信頼を得る」ということを2学期の決意とし、これから頑張っていきたいです。

お子さんの携帯電話・パソコンの使用方法は大丈夫でしょうか？



何度もお知らせしていることですが、携帯電話やスマートフォン・パソコンを利用してホームページやブログなどを開いている、ユーチューブなどに動画をアップしている中学生が増えています。正しい使用をしていればよいのですが、残念ながら「書き言葉」や「映像」だけが一方的に行き交う世界では、時として思いもよらない結果を招くことがあります。

2年生でも以前から携帯電話やスマートフォンのメールやホームページなどが関係したトラブルが何回かありました。何とか大事にはならずすんでいるものの、携帯電話やスマートフォン・パソコンが中学生にこれだけ普及している時代ですから、深刻な問題がいつ起こるか分かりません。携帯電話やスマートフォンは安全を保障するものではありません。大きな事件に巻き込まれないためにも、携帯電話やスマートフォン・パソコンの正しい使い方を大人がしっかりと教え、見届けていかなければいけません。正しい使い方をすれば、様々な情報を集めたり、調べたりすることができますし、とても便利で楽しい物と言えるでしょう。そのためにも、お子さんの携帯電話やスマートフォン・パソコンの使用状況について把握をしていただきたいと思います。学校でも正しい使用の仕方については、これからも指導していきたいと思っています。しかし、保護者の皆様のご理解とご協力がなければ防ぐことができません。ぜひとも今一度、お子さんの携帯電話やスマートフォン・パソコンの使用状況の把握をお願いします。

~~~~~ 切り取り ~~~~~  
ご意見・要望等

# 防災訓練の感想です！！



## 1組 滝本楓奈

スモーク体験をやって感じたことは、教室に入ると全体が真っ白で低い姿勢で歩かないと周りが見えなかった。途中角を曲がったとき、少し普通の姿勢で歩いていたら周りの人や前の人も見えなかった。ハンカチやタオルで口と鼻を押さえないと苦しいことが分かった。スモーク体験で大変だったから、本当の火事では苦しいしもっと大変なんだなと思った。今回のスモーク体験で学んだことを忘れないようにしたいです。

## 2組 大塚悠生

今回のスモーク体験を通して感じたことは、煙の中ではハンカチで鼻と口を押さえながら低い姿勢で進むことが大事なんだなと思いました。小学校の時に何回かやったことがあったけど、そのときは障害物がなかったのがあってのスモーク体験は初めてだったのでいい体験ができたなと思いました。中学校に上がってから煙の中で低い姿勢になると障害物見えると知って、今回やってみたら本当に障害物が見えたのでこのことも改めて確認できて良かったです。これから本当にこのような災害に遭うかもしれないので、今回のことを生かしながら災害時に適切な行動ができるようにしたいです。

## 3組 田口健太

スモーク体験を通して感じたことは、中に入ると何も見えなくて体験だったから冷静に行うことができたけど、もし本当に火事が起きたらパニックになって冷静にできないかもしれないということを感じました。なので、これからは常に日頃から緊張感をもって防災訓練などを行い、地震や火事が起きたときにパニックにならないでしっかりと自分の命を守れるようにしたいと思いました。

## 4組 齋藤遥希

僕はこのスモーク体験をするのは2回目ということで、正直簡単だと思っていた。しかし、今回は実際の火事が忠実に再現されたかのように、段差や机などの障害物があって怖さを感じた。もし実際にこのようなことになってしまっていたら、どうしたらよいのか分からずにパニックになってしまっていたと思います。また、この体験を通してかがんで進むことや壁をつたいながら進むなど、学んだことを頭にとめ、非常時に使えるようにしていきたいです。

## 5組 加藤龍生

スモーク体験をやってみて火災が発生したとき、煙で視界が覆われてしまいました。本当に火災が発生したときには、パニックにならずに低い姿勢を保って動くようにしたいです。また、両手で口や鼻をふさいでしまうと動くときに道に迷ってしまうので、自分の片手をたよりに自分がどこにいるかを把握して、出口を探したいと思います。いつ火災が起きるか分からないので「火災は起きない」と考えずに、今日体験して学んだことをもう一度自分でも振り返り、もしもの時に生かしていきたいです。

## 6組 池本颯希

スモーク体験をやってみて、周りを見てみたら煙で少ししか周りが見えませんでした。そのため、本当に火事が起きたときこんな感じなんだなと思いました。また、今回障害物を少し取り入れてやってみたけど、実際的には机や椅子などの障害物がある上に窓ガラスの破片や時計など地震によって落ちている可能性が十分にあるのでしっかり周りに気をつけて行動することができたらよいなと思いました。

